

6月は環境月間です

美しい自然を次世代へ

環境にやさしい暮らしのために

六月は環境月間、六月五日は環境の日です。未来を担う子どもたちへ住みやすいまちと自然を引き継ぐため、下表の実践例を参考に、環境に配慮した生活を心掛けましょう。

電化製品などを賢く使う

家庭で使う電気は、主に石油などの化石燃料を燃やして作られます。このとき発生する二酸化炭素は地球温暖化の主な原因の一つ。温暖化防止や限りある資源を守るため、電気代の節約にもなる省電力に努めましょう。また、携帯電話の充電器は充電が終わったら、アダプターのコンセントを抜く習慣を。

運転マナーも気を付けて

自動車の排気ガスにも二酸化炭素や窒素酸化物が含まれています。特に、窒素酸化物は酸性雨の原因にも。無駄なアイドリングをやめ、燃費向上を心掛け

環境に配慮した生活の実践例 (省エネルギーセンターの資料から)		
行動項目	二酸化炭素年間削減量	年間節約額
エアコンの設定温度を暖房は20℃、冷房は28℃を目安に温度を設定する。	10.51	2,020円
照明は省エネ型の電球型蛍光灯を使用する。	9.36	1,790円
冷蔵庫内の温度を季節に合わせて調節する。(冬場は冷蔵強度を弱くする)	9.22	1,770円
冷蔵庫に物を詰め込みすぎないように整理整頓する。	8.21	1,570円
電気ポットを長時間使用しないときは、コンセントからプラグを抜く。	12.89	2,470円
洗濯するときは、まとめて洗うようにする。	3.40	3,220円
シャワーはお湯を流したままにしないで小まめに止める。	6.61	2,110円
自動車を使用するときはアイドリングをできる限りしない。	10.45	1,710円
自動車を急発進・急加速させない。	18.01	2,940円
自動車のタイヤの空気圧を適正に保つよう点検する。	9.65	1,580円
合計	98.31	2万1,180円

家庭での二酸化炭素の排出量をチェックしたい人は、「エコライフカレンダー」を用意してあります。問い合わせは環境課 890-6294へ。

るとともに、公共交通機関を積極的に利用してください。

きれいな川を大切に

家庭からの生活排水は河川を汚す大きな原因。台所から出る合成洗剤や食用油は分解されにくく、河川を汚します。洗剤の使用量に気を付けたり、使用済みの油を紙などに含ませて可燃



ゴミに出したり、工夫してきれいな川を守りましょう。

受診対象者が拡大

肝炎ウイルスの検診を

平成十八年度まで、さわやか健診を受診するときに肝炎ウイルス検診を受けることができました。対象者も拡大されたので、希望する人は申し出てください。

対象

次のいずれかに該当する四十歳以上の人 さわやか健診の受診票に記載されている年齢が、四十・四十五・五十・五十五・六十・六十五・七十歳(該当年度ののみ) 過去に肝機能異常を指摘されたことがあり、肝炎の検査や治療を受けたことがない広範囲な外科手術を受けたことがある、または妊娠・分べん時に多量出血したことがあり、定期的に肝機能検査を受けていない さわやか健診で肝炎ウイルス検査が必要と診断された。

自己負担額

〃 の人は、さわやか健診と同時に受診することが原則です。自己負担額は検査内容や集団・個別検診で異なります。

C型・B型両方検査：個別 千二百円 集団 八百円、C型検査のみ：個別 千五百円 集団 七

百円、B型検査のみ：個別 六百円 集団 二百円。

〃 の人は、個別検診のみです。

C型・B型両方検査：千八百円、C型検査のみ：千七百円、B

型検査のみ：千二百円。

なお、生活保護世帯・市民税非課税世帯の人、七十歳以上の人は無料。

肝炎とは

肝臓に炎症が起こる病気です。肝炎になると、肝臓の細胞が壊れて肝臓の働きが悪くなります。アルコールや肥満など、生活習慣によるものとウイルスを原因とするものに大別されます。肝炎を引き起こすウイルスの中でも、B型とC型のウイルスは肝臓の炎症がまん性化しやすいタイプです。

ウイルスが肝細胞に感染すると、増殖して炎症が生じ、急性肝炎を起こします。その後、治ることもありますが、特にC型ではウイルスが完全になくなることは少なく、炎症が慢性化することが高くなっていきます。慢性肝炎は自覚症状が現れないことが多く、気付かないまま放置していると、肝硬変や肝臓がんへ進行することも。早期に発見し、適切な治療を受けることが大切です。

なお、B型・C型肝炎の感染経路は血液や体液で、日常生活ではほとんど感染しません。

〃 問い合わせは保健センター 223 8844へ。